

# もりのにぎわい通信

## 2016年11月26日 定例活動報告

.....

日時：2016年11月26日（土）9：00～16：00

場所：小山町 観音地

天候：曇 気温 8～13℃ 湿度 53% 風向 東北東 風速 3m

定例会参加者：21人：子供5人、大人16人（小山町・土地改良区7人）

### ■ 活動

.....

- 9:00 松エリアの間伐・枝打ち開始
- 10:00 森もり遊び隊集合・除草作業開始
- 10:30 自然観察会
- 11:00 休憩
- 12:00 昼食(豚汁)
- 13:00 工作(クリスマス飾り)、除草作業
- 15:30 片付け
- 16:00 解散

.....

### ■ 活動報告

11月だというのに前々日に雪が降りました。  
 雪が降るのは東京では54年振りだそうです。  
 原因は北極海の氷が少ないためにシベリア寒気団の南下が促進され11月にもかかわらず寒気が関東上空に現れた為とのことです。  
 まだ雪がとけず残っており、子供達がさっそく雪で遊んでいました。  
 土地改良区の皆さんは、前回に引き続きチェーンソー、鎌による松エリアの間伐と枝打ち作業となりました。雪が残る中足元に注意しながらの作業となりました。  
 間伐した枝は軽トラで搬出し、池のそばに集め、枝が乾いてからたき火をするとのことです。  
 今年のクズは例年になく繁殖状況で松の成長ばかりではなく、作業の足かせにもなっています。  
 グズの除去は、手作業に頼らざるを得ない為、なかなか作業が進まないようでした。  
 本日の重点作業は、来年1～2月に実施する千の苗の移植の準備作業です。  
 千の苗の枝打ちと移植する場所の草刈りです。  
 千の苗の枝打ちは2名、移植する場所の草刈りは4名で行いました。  
 前回同様がんなクズとの戦いとなりました。作業中に何度も体や刈払機にクズが巻き付き、その度に作業が中断し、思うように作業がはかどりません。  
 また雪が降った為2m以上になっているススキが雪の重みで倒れ、作業を更に困難にしました。  
 12月に再度作業をすることでなんとか間に合いそうです。  
 お昼は豚汁でした。子供達も手伝って皆さんおいしく頂きました。

(記録：星野 正人)

## ■ 森もりあそび隊

### 森の観察～宝探し・カモフラージュ～

東京で観測史上初めての11月の初雪となった24日は、関東全域が雪となり、初雪ながらも標高の高い土気ではほかの地域よりも積雪が多かったせいか当日の26日は日差しの暖かい日ではありましたが小山の森の朝は雪が残っている状態でした。雪をみて黙ってられる子どもはいません。到着して早々子ども達が集まってまず始めたのは雪合戦でした。雪玉にあたらないように逃げ回ったり、狙いを定めてとびかう雪玉。作業準備をしていたお母さんたちも標的に…。観察会前の楽しいひと時となりました。

午前中は千葉県環境学習アドバイザーの小西由紀子先生による観察会・ネイチャーゲームを行いました。散策路をゆっくりとチェック表を見ながら・・・赤い実がなるもの・ふわふわするもの・空をとぶものなどなどを探しながら歩いていきました。3年生の女の子Yちゃんは先生の質問によく答えていてよく観察できていると感心してしまいました。よく目を凝らさないと見つけられない物ばかりで、実が洋服などにつく“きんみずひき”折った枝の中が空洞の“うつぎ”ふわふわしているようで触ると意外とちくちくする“すすき”の穂などなど見過ごしていた植物を体をつかかってたくさん観察することができました。最後に“宝探し”というネイチャーゲームをしました。観察会で見てきた植物を先生が台にならべて同じものを時間内にみつけてくるというもの。二人一組ぐらいで“あ～！みたけどどこだっけ？”といいながら楽しそうに探していました。先生や大人たちのヒントを参考にほぼ全員がすべて集めることができました。次に“カモフラージュ”というネイチャーゲームをしました。木が密集しているあたりに白いロープを渡して、その周りに約10個ぐらいのはさみ、プラスチックの人形など人工物を草むらや木の枝にかけたりしたものを探し出すというもの。スタートとゴールをつくって一人づつしずかに（うれしくてついあった！！と叫んでしまう子もいましたが）ゴールで先生に何個見つけられたか報告していきました。まだ足りない場合はあと二回探すチャンスがもらえました。答えは14個。

13個までは見つけられた子がいました。答え合わせの時子どもたちは“こんなところで～！！”とか“これは簡単だった”とかいろいろな声が上がっていました。最後にカモフラージュされていたものを数の確認をしていましたが何回数えても1個たりなくてどうしてだろうと話しているとなんと先生のエンジ色の服の腕の部分にゴムでできたおもちゃのへびがかかっていたことに気づきちょうど14個。先生の体にカモフラージュしてしまった恐るべしリアルなへびのおもちゃでした。おわりに先生が写真の絵本をみんなに読んでくれました。“虫のかくれんぼ”（海野 和男作・福音館書店）という絵本で、虫たちが敵から目をごまかすために植物に似た色や模様だったり、形がにていたりとカモフラージュしている姿がたくさん見ることができました。

### 森のネイチャークラフト～リース作り

お昼に手作りの豚汁をみんなで食べた後、クリスマスリース作りをしました。リボン、Hさん宅のお庭に育てていた赤い実のついたクリスマスホーリー、コットンの実や松ぼっくり、観察会で発見したウツギの実、ゴンズイの赤い実などなどをつかって飾りつけをしました。森の松ぼっくりは木にはたくさんついていたのですが、大雪の影響か傘がひらいていなくてリースに使えずとても残念でした。

土台の部分はたまたま土地改良区の方々が剪定をしてくださったかわいい実のついた杉がたくさんあったのでそれを使ってワイヤーでつなげてわっかをつくりました。杉は本来ならば捨てられて燃やされてしまうところだったので、今後もリース作りは剪定の日がいいのかもしれませんが。一人ひとり一生懸命完成させたリースはそれぞれとても素敵なものができました。くずのつるで作るリースもいいですが緑がきれいな杉の葉でつくるリースもいいものです。

### 番外編～のうさぎ

観察会の約一週間前に小西先生と森で下見をしていた時、先生がモミの木の下にウサギがいるのを発見。近づいてみるとウサギはかなり大きく茶色い野兎で大人のうさぎ？という感じで、とてもきれいな姿で人間が近づいても動かなかったので死んだふりをしているのかと思ったぐらいでした。しばらく見ていましたがやっぱりなくなっている様子だったのでモミの木の北側に埋葬しました。

私が森でみるウサギは二回目でいつもは糞だけで存在を確認するだけでした。1回目は6,7年前に迷子の子ウサギが突然の人間の子どもに追いかけてパニックになってみんなの足元を走り回ったとき。そして今回。亡くなった姿で会うのはとても悲しいことでしたが、こんなに大きな野兎が森には生息しているということにとても感動しました。亡くなっていた場所はよくウサギの糞がたくさんたまっていたところ。もしかしたら死に際にお気に入りの場所で・・・と思ったのではないかと勝手に推測しながら手を合わせてきました。(記録：和田 みさ子)

お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、12月13日(土) 予定です。門松作りを行います。







集合写真



雪合戦 楽しそう！



54年振りの初雪





小西先生と観察会



枯れた松の切り出し



2008年3月に植えた松が、松くい虫の被害に・・・。



枯れた松





10月25日に蒔いたソラマメ



ニホンアカガエルを発見!





かわいい雪ウサギ



見つけれられたかな？



ネイチャーゲーム



ひとりずつ静かに見つけましょうね。





薪が湿っていて火おこしが大変！



絵本を読んでももらいました。



小西先生と一緒にクリスマスリース作り



材料は、ほとんど森で見つけたものです。





こんなにステキなクリスマスリースが出来ました。